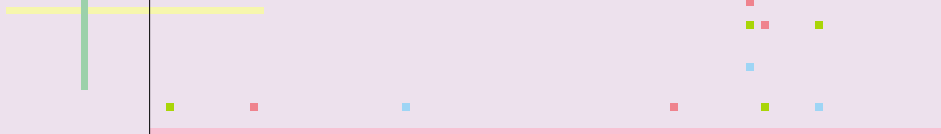
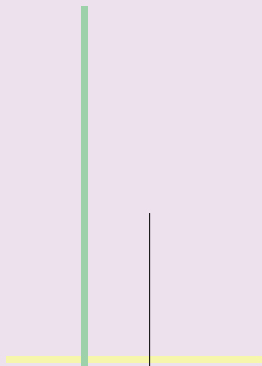


第85期 中間事業報告

平成21年4月1日…9月30日





代表取締役会長
三村 明夫



代表取締役社長
宗岡 正二

平成21年度上半期の事業の概況につきまして御報告申し上げます。

1. 当社グループを取り巻く経営環境

世界経済は、各国政府の景気対策の効果もあり、アジアを中心に景気回復の動きは見られるものの、米欧をはじめとした先進諸国で雇用情勢の悪化が続く等、深刻な状況が続いてきました。

日本経済も、鉱工業生産指数や輸出数量指数の復調や4～6月の国内実質GDP成長率が5四半期ぶりに増加する等の動きが見られるものの、民需による自律的な景気回復には至っておらず、企業は過剰となった設備や雇用の調整を余儀なくされる等、依然厳しい状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループは、製鉄、エンジニアリング、都市開発、化学、新素材、システムソリューションの6事業分野において、グループ各社が自立的に対処しながら収益確保に懸命に取り組んでまいりましたが、前年度下半期以降の製鉄事業を中心とした需要低迷の影響は大きく、対前年同期で大幅な減収・減益となりました。

2. 事業の概況

(1) 各事業分野における取り組み

(製鉄事業)

製鉄事業につきましては、国内鉄鋼マーケットにおいて、建設分野の需要低迷に加え、企業の設備投資抑

制に伴う建産機分野等の需要低迷が続きましたが、自動車、電機をはじめとする製造業分野は、在庫調整の進展や政府の景気対策の効果等により活動水準が持ち直してきており、総じて鉄鋼需要は緩やかながら回復してきたところです。

また、海外鉄鋼マーケットにおいては、政府による積極的な景気対策の効果が現れ出した中国をはじめとするアジアの需要回復に牽引され、当第2四半期以降、鉄鋼需要は好調に推移しました。

しかしながら、上半期の全国粗鋼生産量は、前年度下半期以降の世界的な景気後退の影響により大幅な減産を余儀なくされた第1四半期の影響が大きく、4,333万トンと年度半期としては昭和44年度上半期の4,097万トン以来の低水準となりました。

当社も第2四半期以降、国内及び海外の鉄鋼需要の回復を受け、稼働を延期していた大分製鐵所第1高炉の操業を本年8月より再開する等、生産・出荷水準を引き上げてまいりましたが、上半期の鋼材出荷量は、前年度下半期を下回る水準にとどまりました。

これに対し当社としては、鉄鉱石・原料炭価格の引き下げに加え、安価原料の使用拡大や低生産下でのコストミニマム操業の追求、固定費の徹底した削減等、最大限のコスト改善を実施致しましたが、前年度下半期以降の市況品分野を中心とする鉄鋼マーケット環境の悪化や前年度に契約した高価格原料の入荷及び在庫評価差等の影響のほか、君津製鐵所第3高炉のトラブルの影響等も加わり、売上高・営業損益は対前年同期で減収・減益となりました。

(エンジニアリング事業)

新日鉄エンジニアリング(株)は、製鉄プラント、環境ソリューション、海洋・エネルギー(パイプラインを含む)、建築・鋼構造の各事業分野で、独自性を発揮

できるマーケットを絞り込み、重点営業を展開していますが、景気低迷に伴う案件の中止・延期等の影響が顕著で、国内外とも厳しい受注環境が続いています。しかしながら、過去の受注プロジェクトの万全なリスク管理と収益改善努力に注力したこと等により、対前年同期で売上高は減収ながら営業損益は増益となりました。

（都市開発事業）

㈱新日鉄都市開発は、マンション分譲市場において、経済・雇用情勢の悪化に伴う顧客の購買意欲の減退により契約率が一部の都心物件を除き低水準で推移していることや、ビル賃貸市場において、企業のオフィス需要の減退により空室率が上昇し賃料水準が下落傾向にある等、厳しい事業環境に置かれています。しかしながら、マンション分譲で都心大型物件の引渡しが順調に推移したこと等により、売上高・営業損益は対前年同期で増収・増益となりました。

（化学事業）

新日鐵化学㈱は、携帯電話市場における在庫調整の進展及び高機能機種向けを中心とした旺盛な需要に支えられ、回路基板用材料の販売が増加し、ディスプレイ材料についても薄型テレビ向けが堅調に推移する等、電子材料事業の業績が回復基調にあります。しかしながら、電極向けピッチコックスをはじめとするコールケミカル事業は、国内需要が依然低迷する等、厳しい状況が続いており、売上高・営業損益は対前年同期で減収・減益となりました。

（新素材事業）

新日鉄マテリアルズ㈱は、前年度下半期以降、大幅な需要減退に見舞われましたが、第2四半期以降、主力事業である半導体・電子材料分野の需要に回復の兆しが見られ、これまで取り組んできたコスト削減等の

収益改善活動の成果もあり、業績は回復基調にあります。しかしながら、需要回復の足取りは緩やかであるため、売上高・営業損益は対前年同期で減収・減益となりました。

（システムソリューション事業）

新日鉄ソリューションズ㈱は、クラウド・コンピューティング^{（注）}技術を用いた先進的なソリューション・サービスへの取り組みを強化しており、顧客企業と共同で評価・検証を行う実証検証センターを開設致しました。また、金融機関向けのリテール分析特化ソリューションの開発・提供を開始したほか、他社と共同で製造業向けを中心とした業務改革からITシステム構築・定着までの一貫サービスの提供を開始致しました。顧客企業のシステム投資が依然として抑制傾向にあるなか、受注力の強化をはじめ事業競争力の強化に努めてまいりましたが、売上高・営業損益は対前年同期で減収・減益となりました。

（注）インターネットを基本にした新しいコンピュータの利用形態。
ユーザーはコンピュータ資源をインターネット経由でサービスとして利用できる。

（2）決算の概況

当上半期の連結業績につきましては、売上高は1兆5,733億円と前年同期に比べ1兆288億円の減収となり、営業損益は対前年同期3,198億円減の714億円、経常損益は対前年同期3,491億円減の869億円、四半期純損益は対前年同期2,335億円減の718億円となりました。

（資金調達）

当社は、平成21年6月9日に第62回無担保社債200億円及び第63回無担保社債200億円を発行致しました。

（剰余金の配当）

当第2四半期末（中間期末）の剰余金の配当につき

ましては、既公表の配当方針に従い、上半期の連結当期純損益が赤字となったこと及び年度業績見通しの状況を踏まえ、誠に遺憾ではありますが、その実施を見送ることとさせていただきます。

なお、期末の配当（方針）につきましては、第3四半期決算発表時に判断し、公表させていただくことと致します。

3. 今後の見通し

世界経済は、各国政府による景気対策や金融緩和の効果もあり、景気回復の動きは見られるものの、景気対策の効果一巡や、雇用情勢の悪化等、景気を下押しするリスクが存在しており、先行き不透明感が高まっています。

日本経済も、景気は回復傾向にあるものの、景気対策の効果一巡や円高進行等の懸念があり、先行きへの警戒感が高まっています。

こうしたなか、第3四半期の鉄鋼マーケットは、国内においては、自動車・電機をはじめとする製造業分野で、在庫調整の進展や景気対策の効果等による活動水準の回復から需要増が見込まれ、海外においても、中国・インド等のアジア各国を中心に需要が堅調に推移する見通しです。

しかしながら、第4四半期以降については、国内においては、政府の補正予算の執行状況や景気対策の効果一巡後の反動影響等の不確定要素があることに加えて、建設分野の需要低迷が長期化することも懸念されます。また、海外においても、アジアの需要回復は景気対策によるところが大きく、その効果一巡後の見通しが不透明であることや、需要を牽引している中国では既に高水準の鉄鋼生産が続いているうえに足下のアジアの鉄鋼メーカーの生産能力増強も加わり、供給過

剩も懸念されます。

当社と致しましては、以上のような第4四半期以降の鉄鋼マーケットの状況を踏まえ、引き続き需要動向を慎重に見極めながら実需に見合った生産に徹する所存です。

当期の業績見通しにつきましては、世界的な景気低迷を受けた生産・出荷数量の減少や販売価格構成の悪化のほか、前年度に契約した高価格原料の入荷及び在庫評価差等の一過性の影響等も加わり、次のとおり対前期で大幅な減収・減益となり、経常利益は200億円となる見通しです。

連結 (単位 億円)

	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益
当期	35,000	400	200	0
前期実績	47,698	3,429	3,361	1,550

単独 (単位 億円)

	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益
当期	21,000	500	800	500
前期実績	31,286	2,529	2,036	1,089

(注)上記の見通しには、平成21年10月29日の当第2四半期決算発表時の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

株主の皆様方におかれましては、なにとぞ以上の諸事情を御賢察のうえ、今後ともよろしく御支援を賜りますようお願い申し上げます。

新日鐵グループ企業理念

基本理念

新日鐵グループは、鉄事業を中核として、豊かな価値の創造・提供を通じ、産業の発展と人々の暮らしに貢献します。

経営理念

- 1．社会と共生し、社会から信頼されるグループであり続けます。
- 2．たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、技術で世界をリードします。
- 3．変化を先取りし、さらなる進歩を目指して、自らの変革に努めます。
- 4．人を育て、人を活かし、活力に溢れるグループを目指します。

以上の理念のもと、公正かつ透明な経営を行います。

トピックス

大分製鐵所第1高炉が本年3～5月の改修工事を経て、8月に再稼働致しました。炉容積は同所第2高炉と同じ世界最大の5,775m³で、最新鋭の技術を導入した世界最大のツイン高炉体制となりました。



大分製鐵所の世界最大ツイン高炉（右が第1高炉、左が第2高炉）

当社は、従来の一般塗装鋼板と比べて7～8割減の薄膜化と製造時におけるCO₂発生量の削減を実現する黒色電気亜鉛めっき鋼板「ジンコート®ブラック」を開発し、販売を開始致しました。同鋼板は美しい外観や高い加工性等が評価され、パナソニック㈱製薄型テレビのバックカバーへの採用が決定し、出荷が開始されています。



「ジンコート®ブラック」の加工後外観

エンジニアリング事業の環境ソリューション分野で、新日鉄エンジニアリング㈱が、PFI方式により、名古屋市鳴海工場溶融炉の施設竣工・引き渡しを行いました。



名古屋市鳴海工場溶融炉

*PFI (Private Finance Initiative)

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営ノウハウ、技術を活用して行う手法。



「エココート®-S」を使用した自動車燃料タンク

当社は、省エネルギー・省資源や環境負荷低減に貢献する先進環境対応型製品「エコプロダクツ®」の開発・提供を推進しています。第3回「ものづくり日本大賞」において、当社社員が環境適合燃料タンク用鋼板「エココート®-S」の開発により、製品・技術開発部門で「内閣総理大臣賞」を受賞し、その他にも4つの「優秀賞」を受賞致しました。

当社と今治造船㈱は共同で衝突時の安全性が高い船舶を開発しました。当社は構造用鋼として世界で初めて変形能力の高い鋼材「NS-Ship-Safety235」を開発し、今治造船㈱は4万7千tプロダクトタンカーのバルバスパウに同鋼材の採用を決定しました。



バルバスパウ

*バルバスパウ
噴水線下の船首に設けた球状の突起。

エンジニアリング事業の建築・鋼構造分野で、新日鉄エンジニアリング㈱が、生活協同組合連合会コープネット事業連合が建設を進めてきたコープネット印西要冷センター（千葉県印西市）の施設竣工・引き渡しを行いました。



コープネット印西要冷センター

トピックス

都市開発事業では、㈱新日鉄都市開発が参画した日本初の産学共同再開発プロジェクトにおいて、芝浦工業大学芝浦キャンパスのA街区、オフィス棟「芝浦ルネサイトタワー」のB街区、「ホテルグレイスリー田町」のC街区からなる街づくりを行った「芝浦ルネサイト」(東京都港区)が竣工致しました。



芝浦ルネサイト(左:ホテルグレイスリー田町、右:芝浦ルネサイトタワー)

新素材事業では、新日鉄マテリアルズ㈱が、半導体実装材料のボンディングワイヤーで、金線に代わる銅ワイヤー「EXワイヤー」を当社と共同で開発致しました。銅の酸化を防止する特殊表面処理を行い、金価格高騰を背景に、お客様による採用が進んでいます。



EXワイヤー

当社は、新規耐火物への使用済み耐火物の添加率を最大約80%まで高めるリサイクルシステムを確立し、(財)クリーン・ジャパン・センターより2009年度資源環境循環技術・システム表彰「経済産業省産業技術環境局長賞」を受賞致しました。



使用済み耐火物の破碎・粉碎プロセス(大分製鐵所)

化学事業では、新日鉄化学㈱が、次世代の発光デバイスとして注目されている有機EL材料の開発にも取り組んでおり、携帯電話等のディスプレイや次世代照明開発など、様々な分野で採用されています。



有機EL照明のイメージ(写真提供:パナソニック電工㈱)



*有機EL(Electro-Luminescence)
特定の有機物質に電流を流すことで起こる発光現象。

システムソリューション事業では、新日鉄ソリューションズ㈱が、「NSクラウド・コンピテンスセンター」において、企業情報システムにおけるクラウド・コンピューティングの活用状況を評価・検証しています。



「NSクラウド・コンピテンスセンター」の検証機器



当社は、鉄の副産物と農林水産業の循環資源を利用して鉄分などの栄養分を供給し、砂漠化した海を豊かな海に蘇らせる「海の森づくり」にも取り組んでいます。



磯焼けで白くなった海



鉄分の供給により海藻類が繁茂

連結財務諸表

連結貸借対照表

平成21年9月30日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	1,657,559	流動負債	1,404,963
現金及び預金	89,169	支払手形及び買掛金	408,865
受取手形及び売掛金	371,771	短期借入金	373,293
たな卸資産	908,546	コマーシャル・ペーパー	63,000
その他の	291,173	1年内償還予定の社債	23,250
貸倒引当金	3,101	未払法人税等	19,011
		引当金	3,481
		その他	514,062
固定資産	3,222,380	固定負債	1,278,713
有形固定資産	1,881,577	社債	364,955
機械装置及び運搬具(純額)	949,447	長期借入金	633,017
その他(純額)	932,129	退職給付引当金	141,477
		その他の引当金	33,589
		その他	105,674
無形固定資産	40,782	負債合計	2,683,677
		(純資産の部)	
投資その他の資産	1,300,020	株主資本	1,652,350
投資有価証券	1,132,350	資本金	419,524
その他の	172,984	資本剰余金	114,347
貸倒引当金	5,314	利益剰余金	1,380,343
		自己株式	261,865
		評価・換算差額等	55,018
		その他有価証券評価差額金	99,689
		繰延ヘッジ損益	3,689
		土地再評価差額金	11,181
		為替換算調整勘定	52,162
		少数株主持分	488,894
資産合計	4,879,940	純資産合計	2,196,263
		負債純資産合計	4,879,940

連結財務諸表

連結損益計算書

平成21年4月1日から
平成21年9月30日まで

科 目	金 額	
売 上 高		百万円 1,573,338
売 上 原 価		1,501,555
売上総利益		71,783
販売費及び一般管理費		143,198
営業損失()		71,414
営 業 外 収 益	百万円	
受取利息及び配当金	8,232	
持分法による投資利益	10,986	
そ の 他	16,730	35,949
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	10,376	
そ の 他	41,116	51,492
経常損失()		86,957
特別損失		
課 徴 金 等	6,400	6,400
税金等調整前四半期純損失()		93,357
法 人 税 等		21,171
少 数 株 主 損 失 ()		346
四半期純損失()		71,840

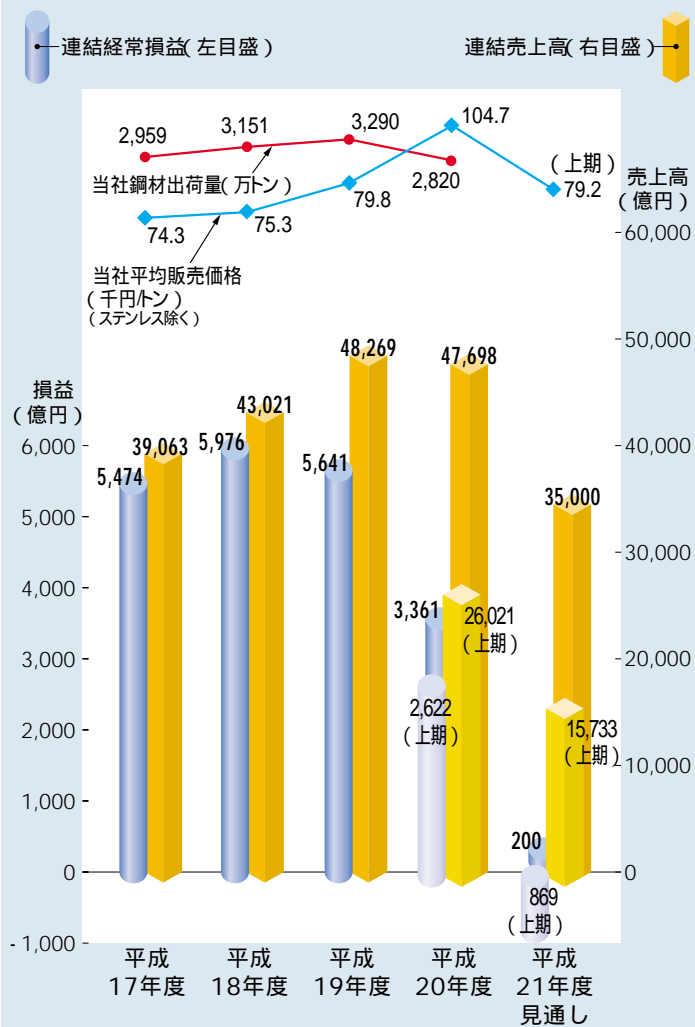
事業の種類別セグメント情報

平成21年4月1日から
平成21年9月30日まで

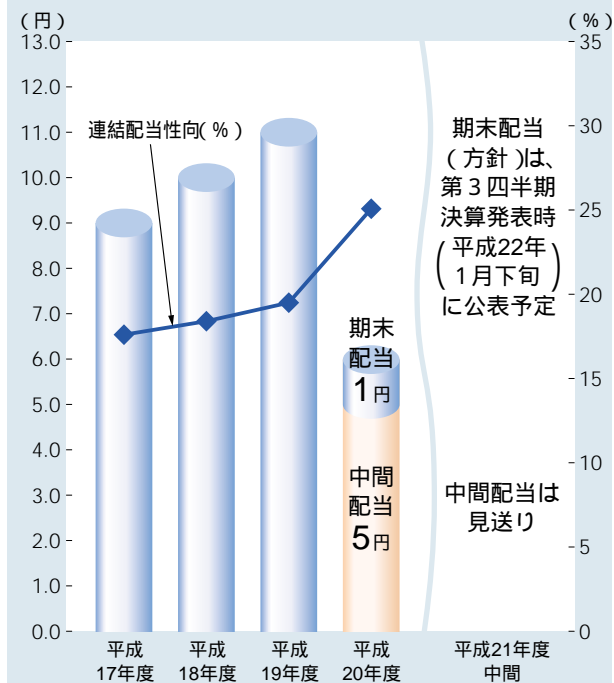
								計	消去又は 全社	連結
	製鉄 事業	エンジニアリング 事業	都市開発 事業	化学 事業	新素材 事業	システム ソリューション 事業				
売 上 高	百万円 1,259,518	百万円 154,805	百万円 43,846	百万円 86,584	百万円 29,128	百万円 69,851	百万円 1,643,735	百万円 (70,396)	百万円 1,573,338	
営業利益又は 営業損失()	93,270	11,911	2,938	5,321	287	4,050	69,335	(2,078)	71,414	

業績等推移

業績推移(連結売上高・連結経常損益・主要指標)



1株当たり配当金・配当性向推移



1株当たり配当金	9.0	10.0	11.0	6.0	0	(円)
1株当たり当期純利益	51.07	54.28	56.33	24.60	11.42	(円)
連結配当性向	17.6	18.4	19.5	24.4	-	(%)

当社の配当方針(平成16年度開示)

連結業績に応じた利益の配分を基本とし、財務体質の強化を図りつつ、資金所要や業績、事業環境などを勘案して配当を実施。

基準配当性向
 連結：20%程度 単独：30%程度

1株当たり配当金 = 1株当たり当期純利益 × 配当性向

株主様工場見学会の御案内

当社は、個人株主の皆様を対象として、当社へのご理解を一層深めていただくために、全国どの地域の株主の皆様でも応募可能な製鉄所見学会を実施しております。

8月末にお送りした「株主の皆様へ 2009秋号」で御案内しました製鉄所見学会には、全国各地から、名古屋製鐵所(愛知県東海市)に約1,600名、君津製鐵所(千葉県君津市)に約5,100名と、多数の株主の皆様からのお申し込みをいただき、誠にありがとうございました。

来年2月には、広畑製鐵所(兵庫県姫路市)にて見学会を開催致しますので、御案内申し上げます。

対象者：平成21年9月末現在、当社株式1,000株以上を御所有の株主の皆様

開催日及び開催場所：

番号	開催日	集合時間	集合場所	解散予定時間と場所
	平成22年2月26日(金)	9:00	姫路市内ホテル	12:00頃 JR姫路駅近辺
		13:00		16:00頃 JR姫路駅近辺

集合場所の姫路市内ホテル名は、招待状にて御案内します。集合場所までの往復交通費・宿泊費は株主様の御負担となりますので、御了承願います。

募集人員：同伴者を含め各回160名

* 同伴者は1名まで(小学4年生以上)とさせていただきます。

* 応募人数が多い場合には抽選とさせていただきます。抽選となった場合の当落の結果及び当選された方への詳細な御案内は、来年2月上旬頃御送付する予定です。

* いずれの回も軽食・飲物を御用意させていただく予定です。

応募方法：

郵便はがきに株主様の住所、氏名、年齢、電話番号、希望番号(またはのいずれか一つ)、同伴者の有無を御記入のうえ、同封の株主様の宛名が印刷されている用紙にある工場見学会応募券(QRコード)を貼付して御応募ください。

* 工場見学会応募券の貼付がない場合には、応募の受け付けができないことを御承ください。

締切日：平成21年12月21日(月)当日消印有効

郵送先：〒168-8790 郵政事業(株)杉並南支店留 新日本製鐵(株)工場見学会申込係

お問合せ先：新日本製鐵(株)株主名簿管理人 中央三井信託銀行証券代行部

工場見学会お問合せ専用電話 03-3323-7138 9:00~17:00(土・日、祝祭日を除く)

* 御応募に伴い、お預かりしました個人情報につきましては、工場見学会の御招待・御連絡のために利用させていただき、それ以外の目的では利用致しません。

IRカレンダー(今後の予定)

平成22年

1月下旬	株主通信「株主の皆様へ 2010新春号」発送
1月下旬	平成22年3月期第3四半期決算、年度決算見通し及び期末剰余金の配当方針発表
4月下旬	平成22年3月期年度決算発表
6月初旬	第86回定時株主総会招集通知送付
6月下旬	第86回定時株主総会開催

NIPPON STEEL

株式事務の取扱いについて

事業年度の末日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
同 基 準 日	定時株主総会において権利を行使すべき株主は、毎年3月31日の最終の株主名簿に記録の議決権を有する株主とします。
剰余金の配当基準日	毎年3月31日、9月30日及びその他取締役会が定める日の最終の株主名簿に記録の株主又は登録質権者に対して剰余金の配当をすることができます。
電子公告を掲載するホームページアドレス	当社ホームページ http://www.nsc.co.jp
定款及び株式取扱規程	当社ホームページ http://www.nsc.co.jp の「投資家・株主情報」に開示しています。
株 主 名 簿 管 理 人	中央三井信託銀行株式会社 東京都港区芝三丁目33番1号
株主名簿管理人事務取扱所 (郵便物送付先・電話照会先)	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 当社株主様専用ダイヤル 0120-78-5401(フリーダイヤル) 株主名簿管理人代表電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取り・売渡しのお申し出先

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払い

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

単元未満株式の買取り・売渡しに係る手数料

別途定める金額(「株式取扱規程」(当社ホームページ<http://www.nsc.co.jp>に掲載中)を御参照ください。)

新日本製鐵株式会社

〒100-8071

東京都千代田区丸の内二丁目6番1号

☎ 03-6867-4111(代表)

<http://www.nsc.co.jp>